

薬だつ知識

⑦③

薬局に薬を取りに行った際、薬剤師から「検査データを見せてください」と言われたことはないでしょうか。健診を受けた時にもらう検査データの他に、最近処方箋の横に切り離し可能なものがついていることもあります。個人情報だから見せにくい、見せたくないというのは分かりますが、冒頭の質問には理由があるのです。

この検査データは外見からは判断しにくい肝臓や腎臓、血液などの状態が数値で分かります。薬の中には、この数値を基に休薬しないといけないものや、飲む量を調節しないといけないもの

検査データと薬



検査データを確認する薬剤師

があります。

例えば、抗がん剤の種類によっては白血球中の好中球の数値で続けて飲むことが可能かどうか判断することがあります。主に尿中へ活性体が排せつさ

れる薬の中には、腎臓の機能が低下している人だと飲む量を減らさないといけないものがあります。腎臓の機能が低下していない人と同じ量の薬を飲んでしまうと、薬が排せつされずに体にたまってしまい副作用が出ることもあります。

また、検査データは持参されたその月だけで見ることありますが、複数月を経過的に確認することで今飲んでる薬の効果の有無や副作用のリスクを判断することができます。

このように体の状態に合わせてより適正な薬の量を調整するために検査データを確認することが必要なのです。

もし、薬剤師からデータを見せてください、と言われたら薬剤師にも守秘義務がありますので、安心してぜひご協力ください。それが自分を守る一つの方法でもあるのです。

(鹿児島県薬剤師会理事・西川弘剛)

※第1水曜に掲載します。

数値を基に適正量調節

令和5年11月1日(水)

73. 検査データと薬